

学校関係者評価報告書

(令和3年度)

令和4年5月

学校法人伊藤学園

専門学校甲府医療秘書学院

専門学校甲府医療秘書学院 学校関係者評価委員会

委員	長	今	井	立	史	(山梨県医師会会長)
委員		島	田	和	哉	(日本耳鼻咽喉科学会 山梨県地方部会副会長)
委員		太	田	道	夫	(山梨県医師会会員)
委員		佐	藤	健	司	(山梨県医師会会員)
委員		七	沢	久	子	(山梨県歯科医師会会員)
事務局		篠	原	豊	明	(学校長)
事務局		伊	藤	祐	寛	(伊藤学園理事長) (山梨県専修学校各種学校協会会長)
事務局		藤	森	正	貴	(伊藤学園法人事務局長)
事務局		矢	野	泰	宏	(教頭)
事務局		高	橋	純	一	(教務主任)

1 教育目標と教育目標に対する評価・意見

「自主性と研究心に富み、優しく思いやりのある礼儀正しい医療秘書の育成」
 「情報の高度化にともなう情報処理、事務処理などの技能を身につけた医療秘書の育成」

- ・おおむね学校目標に則って学校運営がされており、評価基準においても適切に評価されていると思われます。
- ・学校の自己評価については、適正な評価だと思います。
- ・学校の基本方針、学校運営の取り組みなど適切に行われていると思います。
- ・社会や業界が求める人材やスキルへの対応のため、業界の情報収集や意見交換などを積極的に行ってほしいと思います。
- ・保護者、学生からの意見を読ませていただく中で、おおよそ学校関係者の努力が理解されているように思います。
- ・医療秘書職は言うまでもなく、患者さんと医療機関をつなぐ最初の場面であるため、医療経営者として最も気を遣う部門であります。したがって医療機関の鏡となるような人材を育てて欲しい。知識は現場で学ぶもの。その前の人間教育が大事と学生に意識させて欲しい。
- ・退学者1%未満はすばらしい。

2 学校自己評価報告書について

学校自己評価報告書基準	学校自己評価報告書についての評価点の平均		
	自己評価の結果が適切か 4…適切な評価である 3…ほぼ適切な評価である 2…やや不適切な評価である 1…不適切な評価である	改善に向けた結果が適切か 4…十分適切な取組みである 3…ほぼ適切な取組みである 2…あまり適切とはいえない取組みである 1…適切とはいえない取組み	今後の改善方針が適切か 4…十分な効果が期待できる 3…ほぼ十分な効果が期待できる 2…あまり効果が期待できない 1…効果は期待できず、改善を要する
教育理念・目標	3.7	3.6	3.5
学校運営	3.2	3.3	3.3
教育活動	3.6	3.6	3.6
教育成果	3.5	3.6	3.6
学生指導・学生支援	3.4	3.4	3.5
教育環境	3.5	3.5	3.8
学生募集	3.4	3.4	3.5
財務	3.3	3.2	3.2
法令等の遵守	3.7	3.6	3.6
地域貢献・社会貢献	3.1	3.1	3.2

3 今後の改善意見

- ・新興感染症の蔓延する中で、様々な感染対策をとりながら無事に令和3年度の授業並びに行事が終了できましたよかったですと思います。今後も新興感染症が続くと思われるので感染防止対策をとりながら、授業や年間行事を進めていかれることが大切かと思ひます。
- ・学生募集は、学校運営・学校経営に関しまして、重要課題と思ひます。ホームページを活用して、情報の発信をすることが良いと考えます。
- ・令和3年度退学者は、約0.9%で病気の理由とのことですが、学校運営におきまして退学者の低減を図ることは大切な点だと言えます。経済的な事情に関しては、分納、延納や奨学金を勧めるなどの措置を講じているとの報告がありましたが、このような理解があると保護者にもより良いかと思ひます。
- ・新入生の減少を食い止める方策を強化する。
- ・他校より見劣りしている点を改善する。
- ・校内に古めかしい部分があるので改善する。

- ・高等学校の進路指導担当者を、本校に招いて見学を兼ねて紹介をする。
- ・系列高校からの入学者を増やすための方策を考えたらよいと思います。
- ・日本医師会医療秘書認定試験の合格率向上を検討して下さい。
- ・人事、給与、財務情報について公開が不十分。

4 今後の具体的な改善方策

- ・学生募集に関しては、学校説明会をオンラインでの参加を含めた開催にしてもよいかと思えます。
- ・学校ホームページをさらに充実して、タイムリーな情報を提供することもよいと思えます。
- ・在校生や卒業生のコメントもホームページ上にアップするとよいと感じます。
- ・募集活動に関しまして、教育内容や学生への支援、卒業生への支援体制を発信し、本校の教育方針を強くアピールすることが効果があると思えます。
- ・山梨県医師会、山梨県歯科医師会とさらに協力を強化することで、広報活動、学生募集、就職活動を充実していくことができると思えます。
- ・系列校との連携を強化し、体験授業や生徒向け説明会に加え、保護者向け説明会などを企画し、高校生、保護者との接触の機会を増やす。
- ・系列高等学校・専門学校一貫教育の実現。専門学校の一部教科を高校で行う。
- ・系列校からの入学金の廃止。
- ・施設の経年劣化への対策に加えて、施設設備の充実に向けて計画を行う。
- ・施設整備の推進。和式トイレ廃止、空き教室を利用したカフェの設置、熱帯魚の飼育など。
- ・壁やドアを明るい色に塗装する。
- ・絵画の掲示をおこなう。
- ・高校生はもちろん高等学校教員にも診療情報管理士、医療情報技師、ソーシャルワーカーについて理解してもらうために、進学説明会、講演会に積極的に参加する。また、高校訪問体制、内容を強化する。
- ・卒業生の就職先に対するアンケートを活用し、業界ニーズと期待される教育内容を把握し、カリキュラムの改善や受験する検定の選定を行う。